

# 小野谷機工の2プラス1事業

## 50周年機にTPMS強化

小野谷機工株式会社は、昨年創業50周年を迎えた。昨年2月に創業者の三村義雄社主が逝去されたのを機に、三村昌之会長が代表取締役会長CEOに、三村健二社長が共同会長に、宇田公郎専務が代表取締役社長COOに、左膳泰友常務が専務に就任する新体制がスタートした。コロナ禍の影響下で難しい取りが求められる中、小野谷機工がこれから目指す方向性はどうなのか。宇田社長、左膳専務にお話を聞いた。(木本)

—創業50周年おめでとうござります。三村社主が逝去され、昨年10月に新体制がスタートしましたが、この狙いについて教えてください。

宇田 10月に代表取締役社長COOに就任いたしました。

COOというのは、三村昌之会長、グループCEOで、特に創業者の三村義雄社主が晩年、地域貢献活動に非常に熱心に取り組まれていて、公的な役職だけで30位ありました。

商工会議所とか観光協会などでは社主のそういう貢献活動を引き継いで活動していただきま

しょうということでCEOの名前を付けております。健二会長は今回、社長から会長になられたんですけども、共同会長という形です。社長時代に社員アーチストを経営の柱にされてこられたので、引き続きそういう形で、引き続きそういう形で、引き続き社長を務めます。私は事業の執行の方を担当してい

くといふ形で、COOという名前を社長の後に付けたといううことです。グループ、特にタイヤ連携して担当していくという形で、COOといふ名前をつけることになりました。今までより安全

関連事業の実務の調整を役員と連携して担当していくという形で、COOといふ名前をつけることになりました。今までより安全

か作業する人が多様になってい るのでそういう人達にも作業が 楽になること、安全と負担軽減 を二本柱にして商品開発を進めています。

—それに沿った商品開発も大変なことですね。

宇田 確かに大変です。ただ

創業者の時から基本は耐久性があつて楽で付加価値を付けると

いう、機能で他社と違うという

ような機能を付けてモノをつくつていう。独創的な商品をつくりていこうというのがDN

Aというか根柢にあります。そ

れは大切に引き継いでいきた

い。そのためには基礎的な技術力の向上というものをやってい

ちょっと本社にどまらないと

いけない時間が多くなるので主

要なお客様をフォローしてもら

うことが目的です。

宇田 生産本部、環境機器本

部、それに加え営業本部の本部

のCOOという形でですね、三

長代行という形でですね、私も

ちょっと本社にどまらないと

いけない時間が多くなるので主

要なお客様をフォローしてもら

うことが目的です。

宇田 要は非常に時代の変化

が激しいですね。環境や車の変

化、社会の高齢化。タイヤ整備

と言う意味でもいろんな課題が

出てきました。変化に対応した

方が教えてください。

宇田 一カラーカラーをどう出すか、難し

いところですね。

宇田 お客様のニーズの中に

は安全作業ということがまず第一にあります。今までより安全

にということ、もう一つはや



一なるほど。いろいろ新しいものが出て来るんでしょうね。宇田 そこから生まれた技術や特許といったものは、知財戦略としてしっかりと取り組んでいます。

宇田 確かに大変です。ただ

創業者の時から基本は耐久性があつて楽で付加価値を付けると

いう、機能で他社と違うという

ような機能を付けてモノをつくつていう。独創的な商品をつくりていこうというのがDN

Aというか根柢にあります。そ

れは大切に引き継いでいきた

い。そのためには基礎的な技術力の向上というものをやってい

うことが目的です。

宇田 コロナでお客様の設備

が激しいですね。環境や車の変

化、社会の高齢化。タイヤ整備

と zwar う意味でもいろんな課題が

出てきました。変化に対応した

方が教えてください。

宇田 要は非常に時代の変化

が激しいですね。環境や車の変

化、社会の高齢化。タイヤ整備

と zwar う意味でもいろんな課題が

出てきました。変化に対応した

方が教えてください。

宇田 要は非常に時代の変化

が激しいですね。環境や車の変

化、社会の高齢化。タイヤ整備

と zwar う意味でもいろんな課題が

出てきました。変化に対応した

方が教えてください。

宇田 一カラーカラーをどう出すか、難し

いところですね。

宇田 お客様のニーズの中に

は安全作業ということがまず第一にあります。今までより安全

にということ、もう一つはや

にということ、もう一つはや

い。ですがホームページを見る

た。過去、リーマンショックでかなり大きなダウンを経験しましたがそれと同じようなもので

した。それが復すると思うたので、何かできることはないかと思って実践したのがホームページの強化でした。商品を

か作業する人が多様になってい

ます。もう一つはメーカーとして直接お客様の機械の状態を維持していくメンテナンスサービスですね。これは当社の10カ所の営業所に所属するセールスマ

ンの強みの出る部分です。商品を活かすメンテナンスサービスですね。これは当社の両輪と言

う。商品を開発、これは当社の両輪と言

ことで最新の機械を見ることができるようになりますし、リアルを補うという意味ではそれが効果があると判断していま。川崎雅彦ディレクターの元に女性が一人いて、ホームページ専任で担当しております。熟知した人間が直接作るわけです。スキルもどんどん上がっております。

ただ、このコロナ禍で一番大きかったのはサプライチェーンの影響、製造面ですね。自動車メーカーさんが半導体とか部品調達が出来ず減産というニュースがたびたび報じられますが私共もですね、そういう意味では部品調達が大変です。

左膳 ここ3年ほど製造本部では余剰在庫を持たないようにしようとして生産管理を始めたんですよ。その中に調達部門をつくって現場をチェックして発注するという体制を整え、業績も上がってきました。コロナが発生した後、部品の供給には影響なったんですが去年の頭に鉄が足りなくなるという情報が来て、心配しましたがとりあえず供給は心配ありませんでした。ただ、値段はすぐ上がりました。そして夏以降、電子関連のパーツですね。うちは多品種小ロットなので使う部品も多くて50、100くらいのもので自動車メーカーのように何万個と使うことはないで安心というか油断しておりました。それが突然、海外のロックダウンなどでアッセンブリーする能力はあるが部品が足りなくなっています。

代替品など手は打っておりまですが電子ペーパーとか、スイッチ一つや配線の端子一つにして

も、足りなくなってきたおりま。ロッドダウンが解除になりましたところもありますが、なかなか生産は元に戻りにくいです。中間に入っている販売会社さんも非常に困っていますね。モノが無いし注文しても入ってこない、また入ってきても既存のお客様はどう割り振りするか。悩みは尽きないですが何とかやりかしまだ新しい変異株が出たとか心配ですね。

これは東南アジアの話なんですが、中国でも電力不足でお客様の中には中国で生産していることもありますので、突然生産ができない状況になつたりしています。オリンピックが終わるまでは不安定な状況が続くのではないか、という心配はしています。

左膳 改めて海外に依存して

いるその大きさというのがわからりましたね。日本のメーカーさんはいろんな電子パーツをつくっていますよ、と言つてますが使ふるのは影響なったんですが、今年の頭に鉄が足りなくなるとどうなんですよ。それを寄せ集めてつくっている。

宇田 改めて海外に依存してして発注するという体制を整え、業績も上がってきました。コロナが発生した後、部品の供給には影響なったんですが去年の頭に鉄が足りなくなるという情報が来て、心配しましたがとりあえず供給は心配ありませんでした。ただ、値段はすぐ上がりました。そして夏以降、電子関連のパーツですね。うちは多品種小ロットなので使う部品が多くて50、100くらいのもので自動車メーカーのように何万個と使うことはないで安心というか油断しておりました。それが突然、海外のロックダウンなどでアッセンブリーする能力はあるが部品が足りなくなっています。

宇田 業績が回復しつつある企業もありますが、先行き不安が消えないと思います。それに企業もりますが、先行き不安が消えないと思います。今年最大のリスクはコロナの次の波、日本国内だけじゃなく海外の感染の拡大状況、これが大きくなりスクニリーウン企業を目指すという

宇田 新たに2プラス1のソリューション事業、創造性でオノリーウン企業を目指すという

宇田 事業領域も今までのタ

宇田 どういう形になつても

Top Interview

宇田社長

左膳専務

# 特別インタビュー



## 企業理念

品質重視のモノ創りに徹し  
創造と行動でオンラインに挑戦  
持続的な成長で社会への貢献と  
社員の幸せを目指す

**(解説)**  
・事業環境の変化においても、創業者の理念である「独創性」「頑丈なモノをつくる」「シントラブル」というモノ創り品質へのこだわり、「品質」を経営の基本に置く。  
・「オンラインの価値」を読み出す始まりは、お客様の声を「聴き」、現場での迅速な「行動」にある。  
・その姿勢を常に忘れず仕事に向かうことで成果が得られる。「お客様の満足」を得ることができる。  
・その積み重ねが社会の「信頼」となり。  
・会社と社員の「持続的な成長」につながる。  
・会社と社員の成長は、「業界・地域社会への貢献」と「社員に働きがい・幸せ」をもたらすことができる。

# 専業店の利益貢献へ

—TPMS

は、ビジネスと

してどういうと

ころが優れてい

るのでしょうか

宇田 事業領域も今までのタ

小野谷機工のメインの事業であ

るタイヤサービス機器の事業、

もう一つは環境機器の事業で

お客様も共通ですし、需要とし

ても相当示

リユームがあります。

宇田 どういう形になつても

ショップさんの事業を止めな

い、作業を止めない。そのお手

伝いをして作業品質を高める。

その障害になるのが、先ほども

話しましたが人手不足や作業ス

タッフの高齢化ですね。そうい

うことで負担軽減の提供、自動

化された機械の提供を行つて

いたいですし、基本はショップ

さんが成長し、継続していくた

い。タイヤ

・ホイール

の物販でな

かなか利益

高い作業を提供することができ

たいです。それがショップ

さんが成長し、継続していくた

めに必要な機械を提供してい

く。それを使ってタイヤをお買

い上げいただくお客様に品質の

提供を行つていただきたい。それが

本質だと思います。

一本目は長時間ありがとうございました。





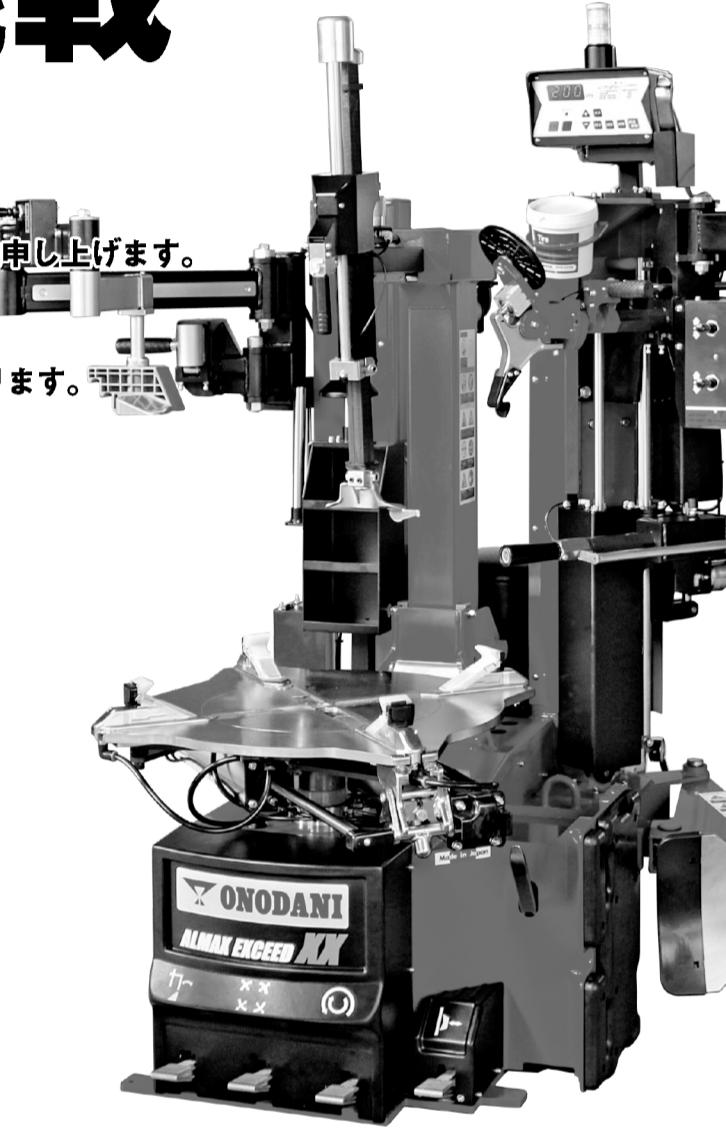
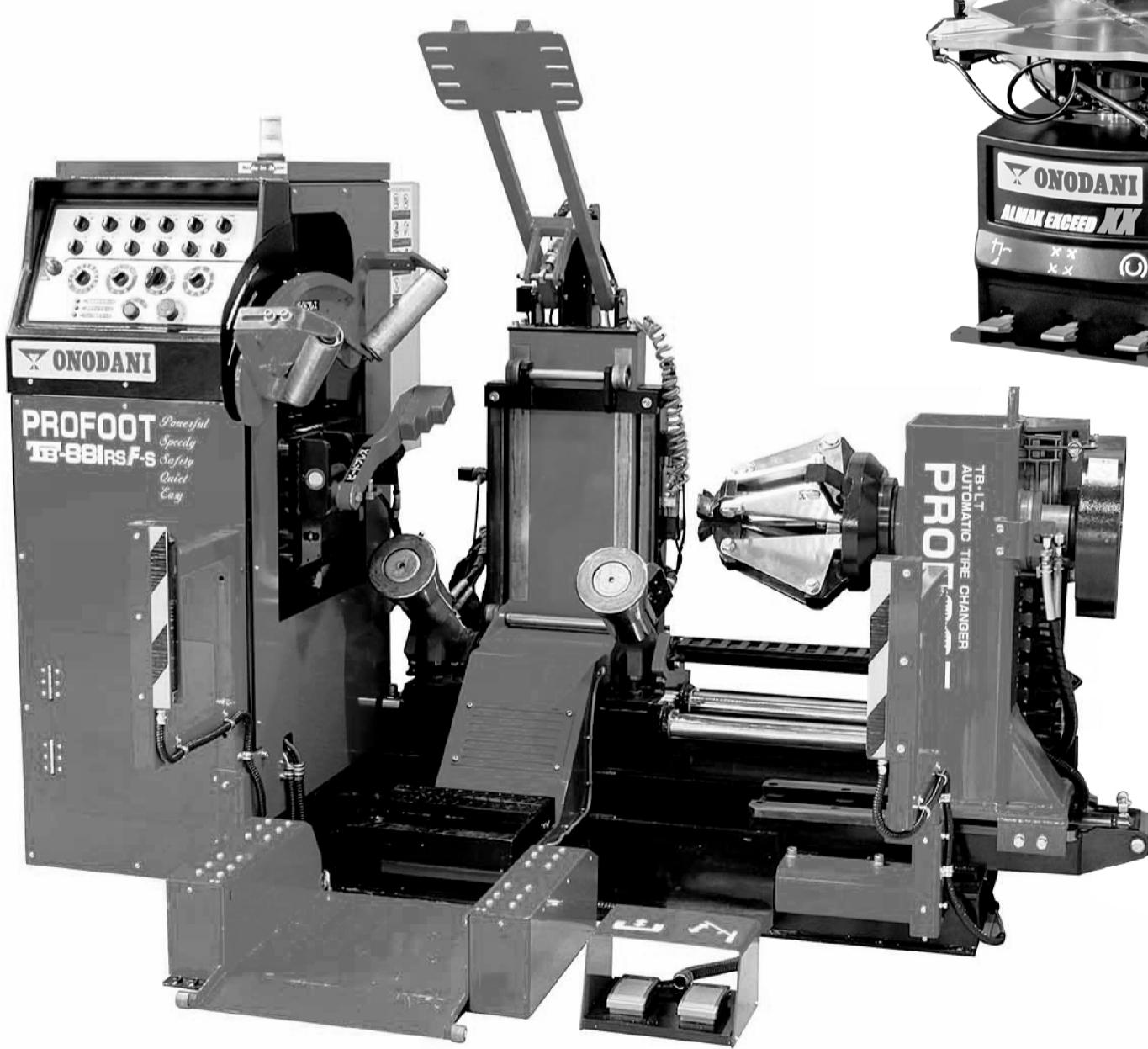
# 50年の感謝 未来創造に挑戦

小野谷機工は昨年おかげさまで創立50周年を迎えました。

これまで弊社製品をご愛顧頂いていますお客様、お取引先様に厚く御礼申し上げます。

そして次の50年

お客様のニーズにこたえる創造的なモノづくりに力強く挑戦してまいります。



地域未来牽引企業

**小野谷機工株式会社**

本社／福井県越前市家久町63-1 TEL.(0778)22-2124

札幌営業所 ☎(011)791-8588  
東京営業所 ☎(03)5970-6011  
福井営業所 ☎(0778)21-0335  
福岡営業所 ☎(092)582-6743

仙台営業所 ☎(022)255-7408  
新潟営業所 ☎(025)281-8251  
大阪営業所 ☎(06)6701-7315

秋田営業所 ☎(018)800-2556  
名古屋営業所 ☎(052)354-1021  
広島営業所 ☎(082)943-8455

